

平成28年度 久留米市文化財収蔵資料審議会 議事録概要

開催要領

1. 開催日時：平成28年9月8日（木）10:30～11:30
2. 会場：久留米市役所3階 302会議室
3. 参加委員：江藤彰彦委員、吉留優子委員、吉田洋一委員、吉永陽三委員、國生知子委員
(欠席委員：大津忠彦委員、植野かおり委員、後藤純子委員)
4. 事務局：文化財保護課 馬場課長、白木課長補佐、小形主査、小澤、穴井、佐藤、津村、高取
5. 傍聴者：なし

議事次第

1. 開会のことば
2. 教育長挨拶
3. 会長・副会長選任
4. 報告
 - (1) 平成27・28年度資料の収集について
 - (2) 平成27・28年度資料の補修について
5. 議題審議
 - (1) 平成28年度資料の購入について
6. その他
 - (1) 資料の活用状況について
7. 閉会のことば

議事録

1. 開会のことば

- 事務局より新任職員の紹介
- 事務局より会議成立報告

2. 教育長挨拶

- 教育長欠席のため馬場課長代読

3. 会長・副会長選任

- 委員の互選により、大津委員を会長、吉留委員を副会長に選出
- 大津委員が欠席のため、吉留委員を議長に選出

4. 報告

- (1) 平成 27・28 年度資料の収集について
- (2) 平成 27・28 年度資料の補修について
- 事務局より説明
- 質疑
- (委員) 「船曳大茲」は何と読むのか。
- (事務局) 「ふなびきたいじ」と読む。
- (委員) 「筑後国府図」の大きさは。
- (事務局) 横幅が 3 メートルほどである。

5. 議題審議

- (1) 平成 28 年度資料の購入について
- 事務局より説明
- 質疑
- (委員) この資料の伝来は。
- (事務局) 伝来はわからない。現在市内の古美術店が持っている。
- (委員) 価格は。
- (事務局) 30 万円という価格がついている。

(委員) どのような活用を考えているのか。

(事務局) 久留米藩御用絵師の画業を紹介する展示や、久留米の歴史展示などでの活用が考えられる。

(委員) 久留米市では、このほかに三谷家の資料を収蔵しているのか。

(事務局) 三谷家からの寄託資料が約 6000 点ある。画稿類が多く残っている。

(委員) 三谷有信に特化した展示も考えられるか。

(事務局) 調査が必要だが、三谷有信は比較的時代が新しく、多くの資料が残っているため、考えられる。

(委員) 三谷家の資料は、久留米市や大川市以外にも残っているのか。

(事務局) その点についてはまだ確認できていない。

(委員) 今後、三谷家の資料については計画的な調査・保存・活用を考えているのか。

(事務局) 人員の問題や、寄託者の許諾の問題があるが、進めていく予定。久留米市としては、散逸することは防ぎたいので、今後も寄託者の意向を尊重して進めていきたい。

(委員) 関心を持っている研究者が多いはずなので、力を入れてほしい。

○諮問については、異議なしとして委員全員の承認を得る

6. その他

(1) 資料の活用状況について

○事務局より説明

○質疑

(委員) 久留米市美術館が開館予定で、そちらでも資料購入をしていると思うが、文化財保護課との関係はどうなっているのか。

(事務局) 基本的に、文化振興課の所管する美術館では美術資料を、文化財保護課では歴史資料を収集する方針である。今後も文化振興課と協議をしていきたい。

(委員) お互いに連携を取って、有機的に、計画的に進めていただきたい。

(委員) 毎年の資料購入予算はどれぐらいか。

(事務局) 年間 50～60 万円程度である。

(委員) 補修は購入とは別予算か。

(事務局) 別予算である。

(委員) 一年間の文化財保護課の業務の実態や流れなどがよくわからない。受け入れた資料がどのように活用されているか、例えば、展示コーナーで展示されている様子を知りたい。どういった資料が市民の皆さんにどのような良い影響を与えているか知ることで、資料の収集審議にも熱が入る。雰囲気や伝わるような報告をしていただきたい。

(事務局) 例えば展示会場に近い会場で審議会を開催して、実際に展示を見ていただくなどの検討をしたい。

(委員) 配布資料に、資料の年代や履歴、法量など、基本的な情報の明記をお願いしたい。資料についても、現物が理想的だが、写真とともに、資料の希少性について解説したり、どういった展覧会にどのように活用するか示していただきたい。

(事務局) 今後配慮したい。

7. 閉会のことば

○馬場課長より、閉会のあいさつ